



授業参観 お忙しいところあいがとうございました



【教養部本読み聞かせ】

11月27日（木）に授業参観を実施しました。お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき感謝申し上げます。また、学級懇談会や学年レクに多数参加いただき、重ねて感謝申し上げます。授業前にはPTA教養部による読み聞かせもあり、子ども達は食い入るように見入っていました。ありがとうございました。

各学級で、子ども達の学習に臨む姿をご覧いただきました。学習成果発表会とも違った、一人一人の成長した姿を実感していただけたのではないか。子ども達が学級の友達とのかかわり、他の学年とのかかわり、行事への取組を通して、地域の皆

様や職員とのかかわりの中で身に付けてきたことがたくさんあります。知識として学習したことでもちろんですが、話す姿、聞く姿、友達とかかわる姿のどれをとっても成長を感じます。特に、自分の考えをもつという力の成長感じています。

ただ、まだまだ成長過程にある子ども達です。保護者の皆様や私たち教職員が、身に付けてほしいと願う力が身につき、将来にわたって自分らしく力を伸ばしてほしいと考えています。学習活動やそのほかの活動の在り方を工夫しながら継続した取組をしていきたいと考えております。今後ともご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

余談ですが…150周年式典や学習成果発表会の子ども達のがんばりを、実行委員長でもある



【授業の様子】



【授業の様子】

工藤弘光さんから、『120点』という点数をつけていただきました。そのことを児童集会の際に子ども達に伝えました。「何点つけてもらえたと思いますか」と子ども達に尋ねたら、返ってきた答えは「100点」でした。自分たちのしたことへの自信の表れと嬉しくなりました。「150点」という声も聞かれました。正解を伝え、「150点にはあと30点足りないけど…」と話すと、「まだがんばれる」という声が子ども達から出ました。頼もしい姿を紹介しました。

第2回学校運営協議会

授業参観と並行して、今年度2回目の学校運営協議会（コミュニティースクール）の話し合いを行いました。今回は実際に授業の様子をご覧いただき、これまでの活動を振り返りながら、委員の皆様からご意見を頂戴しました。また、新たに児童会執行部にも参加してもらいました。執行部からは、地域の皆様から様々な活動をご支援いただいていることへの感謝、全校で何を目指して取り組んでいるのか、今後どのようなことに取組んでいくのかを話しました。それを受けた委員の方々から質問やご意見もいただきました。

その主な内容は…

- ・縦割りはどんなことをしているのか？
- ・もっとこうすることをしてみたいということはあるか？
- ・継続は大きな力になるので、ぜひ下級生に伝えてほしい意見交流の中で子ども達から、縦割りの更なる充実や地域での世代間交流、ボランティア活動などの考えも出されました。学校としても取り入れられるところについて、目的を考えながら検討していきたいと思います。

以下に話し合い（熟議）の主な内容をお知らせいたします。

1学期学校評価について

➤ 読書への取組について

親子読書の達成状況に課題があるが、実際に親世代はどうなのか？

⇒なかなか難しい面もある 取組回数を増やすのもいいのでは 振り返りを簡単に

➤ 地域とのかかわりについて

⇒コミセンの活動も工夫しながら子どもの思いも取り入れてみたい

授業参観の様子から

➤ 学習成果発表会でも見たが、子ども達の成長を感じる

お忙しいところ長時間にわたり熟議をいただいた委員の皆様、ありがとうございました。

もうすぐ冬休み



12月に入りあと3週間で冬休みとなりました。これから各学級では、冬休みの計画や準備を進めています。

さて、冬休みこそ子どもには時間があるからこそ、思い切って「見守ること」はいかがでしょうか。私たち大人の役割は、「手助けではなく、見守ること」だと思うからです。子ども達は素晴らしい力をもっています。発揮するためのスキルや、発揮する方法が未熟あるいは知らないのではないでしょうか。子ども達と接するときにいつも考えてはいるのですが、なかなか難しいと思っていることがあります。特に忙しい保護者の皆様は、そんな余裕…と思われるかもしれません。何を考えているかと言うと、「子どもが自分でできる工夫」を取り入れることです。声かけ一つで変わることを思っています。工夫するためのヒントを出すことができればいいなあ…といつも考えています。

ある日の出来事から

△ 2年生が、九九の学習をしています。何度も練習している様子を目にします。お家でもたくさん練習しているようです。校長室に九九を順番ではなく、バラバラな順で答える「バラ九九」の挑戦に来た時のことです。誰がいつ来ても「合格」と言うと決まったリアクションがあります。大声で「やったー！」ガッツポーズをする子もいます。合格に向けてどれだけ頑張ったかがよくわかります。「おめでとう。よく練習したね。」だけでは申し訳ないという思いになります。一番大切なのは、何かに本気で取組んで成し遂げた思いだと思います。この気持ちを忘れず、他のことにも「やったー！」と無意識に声に出るほどのことがたくさんあることを願います。